

森との新しい関係ー森業ーの可能性

はじめに

森林は、空気や水を育み、災害を防ぎ、保健・レクリエーションの場を提供するなど様々な恩恵をもたらしてくれます。しかしながら、今、日本では、人口減少や高齢化の進展、木材価格の低迷などから、管理が行き届かない森林や所有者不明森林の発生など、様々な課題がみられます。一方で、近年、企業が気候変動や生物多様性損失等の課題への取組を非財務情報として開示する流れが拡大し、企業の経営基盤である自然資本に対する取組として、森林に携わろうとする動きが広まっており、今あらためて森林の価値が見直されています。

そこで、林野庁では、木材供給にとどまらない様々な生態系サービスに価値を見出し、より多くの人が森林に携わる取組を新たに「森業」として推進することとしました。本シリーズでは、「森業の推進」による地方創生について、ご紹介します。

森業ってなに？

「地方みらい共創戦略」（令和7年5月28

日農林水産省公表）では、「木材供給にとどまらない環境保全や癒しなどの森林の多面的な機能に価値を見だし、地域の賑わいや所得向上と雇用を創出する「森業の推進」ー即ち、山の地方創生ーが重要」と謳い、異分野や多様な主体の共創による付加価値創出を掲げています。「森業」は地域において、森林所有者と都市住民や企業とが連携し、森林空間利用等のニーズに対する受入環境を整備し、関係人口の拡大・深化を図ることで、雇用と収入機会を創出し、森林所有者の所有や管理に対する意欲の向上を目指す取組です。

森業の主な取組

「森業」の要素となる取組は、これまで全国で展開されてきました。

例えば、森林浴や森林療法など森林空間を活用した体験活動は、心身の健康の維持増進に貢献し、国際的にも関心が寄せられています。森林空間利用も多様化しており、アウトドアスポーツ等のアクティビティで集客に成功している事例もみられます。

森林と企業の関わりも多様化しており、特定の地域と協定等を締結することにより

地域貢献として森林づくり活動が進められているほか、企業研修のフィールドとしての森林利用や森林由来J-クレジットの取引を通じてつながりの生まれた地域と企業とが連携した森林づくり活動等も広がっています。

林野庁においても、森林浴や自然観察等

に適した国有林である「レクリエーションの森」のうち、特に観光資源としての活用が期待される93箇所を「日本美しの森お薦め国有林」として選定し、動画・SNSによる情報発信や、受入環境の整備を通じて、外国人旅行者を含む観光誘致を図り、地域の活性化に貢献しています。



森林浴による森林空間利用©2020 上山市



企業による森林づくり活動

森林由来のJ-クレジット

森林由来のJ-クレジットによるオフセットは、健全な森林の育成を通じて、自然災害の防止や水資源を育むなど、社会や経済にも貢献します



森林由来J-クレジットの取引

森業の推進の目指すところ

先に紹介した森林空間利用等については、山村の内発的発展を目指す手段の一つとして進められてきましたが、このような施策アプローチだけでは山村の厳しい現実に対処しきれない面があるのも事実です。このため、都市に暮らしながら山村と関わる人や企業が増え、地域を支える新しいつながりを生み出していく動きがあることに着目する必要があります。森業を推進することは、森林の持つ価値を最大限引き出し

て、森を守るとともに、人と地域の未来を育てる新しい挑戦です。

目指すアプローチは3点あります。

第1に、複数要素を組み合わせた相乗効果の発現です。例えば、森林浴のツアーの一環で、参加者が間伐や植林などの森林づくり活動を行うなど、体験型サービスをを通じて地域の森林整備に貢献するような取組です。J-クレジットを組み合わせることで、活動の収益源を安定化させる可能性も広がります。

第2に、関係人口の拡大を通じた、移住や定住の促進にとどまらない幅広い意味での地域活性化です。地域の森林の魅力を活かした体験型観光プログラムなどは、小規模であっても、地域経済に恩恵をもたらしてくれます。

第3に、森林への関心を失った森林所有者に対し、改めて森林の価値を再認識してもらい、森林管理に対してインセンティブを与えることです。森業が森林管理意欲を高める有効な手段となれば、その経験の共有を通じて、横展開につなげることも可能となります。

おわりに

林野庁では、森業を推進するために「森業」ポータルサイトを開設し、誰もが森業に触れられる環境を整えています。森業のコンテンツはもっと幅広いものであり、今後、森業に関わる方々との議論を通じて、ウェブサイトのコンテンツを拡大してい

たいと考えています。

次回以降、実際の森業の事例を通じて、その広がりや可能性をわかりやすくご紹介

します。森業は、もう始まっています。あなたも、森との新しい関係を見つけてみませんか。

これからの森業のポータルサイト

森業 portal

林野庁では、森林と人、森林と企業がつながっていく、そんな「森業」の情報発信ポータル「森業portal」を開設。

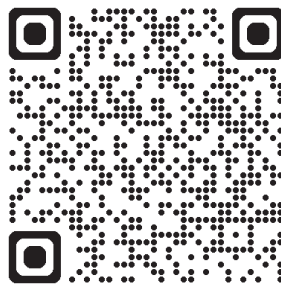


1撮影：山形県上山市地蔵（02020）。2撮影：長野県伊豆市地蔵。3撮影：群馬県高野町地蔵

「森業」とは

Pick up森業

森にふれる



森林サービス産業推進地域や、企業による森林（もり）づくり、森林由来J-クレジットに関する情報のほか、「日本美しの森 お薦め国有林」などの情報を発信。

https://www.rinya.maff.go.jp/j/sin_riyou/morigyo.html